

令和4年度



古賀市自殺対策推進事業



古賀市ゲートキーパー研修



ゲートキーパーとは、「命の門番」、つまり「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な相談機関へつなげ見守る」人のことです。

新型コロナウイルス感染症の影響により全国では自殺者数が11年ぶりに増加に転じ、古賀市でも高齢者の自殺が増えています。

長い自粛生活で一日中誰とも話さない日々が続き、悩みを抱えたまま孤立している高齢者も増えています。

高齢者のおかれている状況や気持ちを理解し、どのように寄り添い、見守っていくのかを一緒に考えてみませんか。

参加無料

令和5年  
2/25(土)  
14時～16時  
(受付13時30分～)

【会場】リーパスプラザこが  
多目的ホール(交流館2階)

【参加】古賀市民(定員100名) ※予約不要

【テーマ】「高齢者が孤立しないために  
私たちができること」

【講師】

公益社団法人 福岡県社会福祉士会  
社会福祉士 木藤 孝祐 氏

【講師略歴】

福岡県社会福祉士会に所属。平成9年から4年間、福岡市精神保健福祉センターにて自殺対策担当主査として勤務。

現在は、福岡市西区保護課にて高齢者訪問・サポート強化事業を担当。また、九州大学医学部非常勤講師として勤務するなど福祉の幅広い分野で活躍。

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、検温・消毒・マスク着用にご協力ください。

高齢者外出促進事業